

第一四部

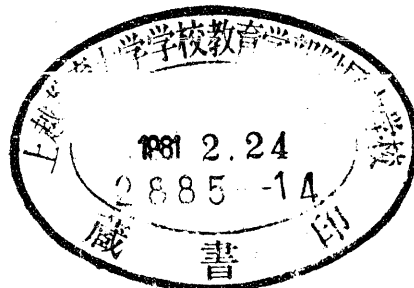
高田藩記録

自
嘉永元年
十二月
至
十二月

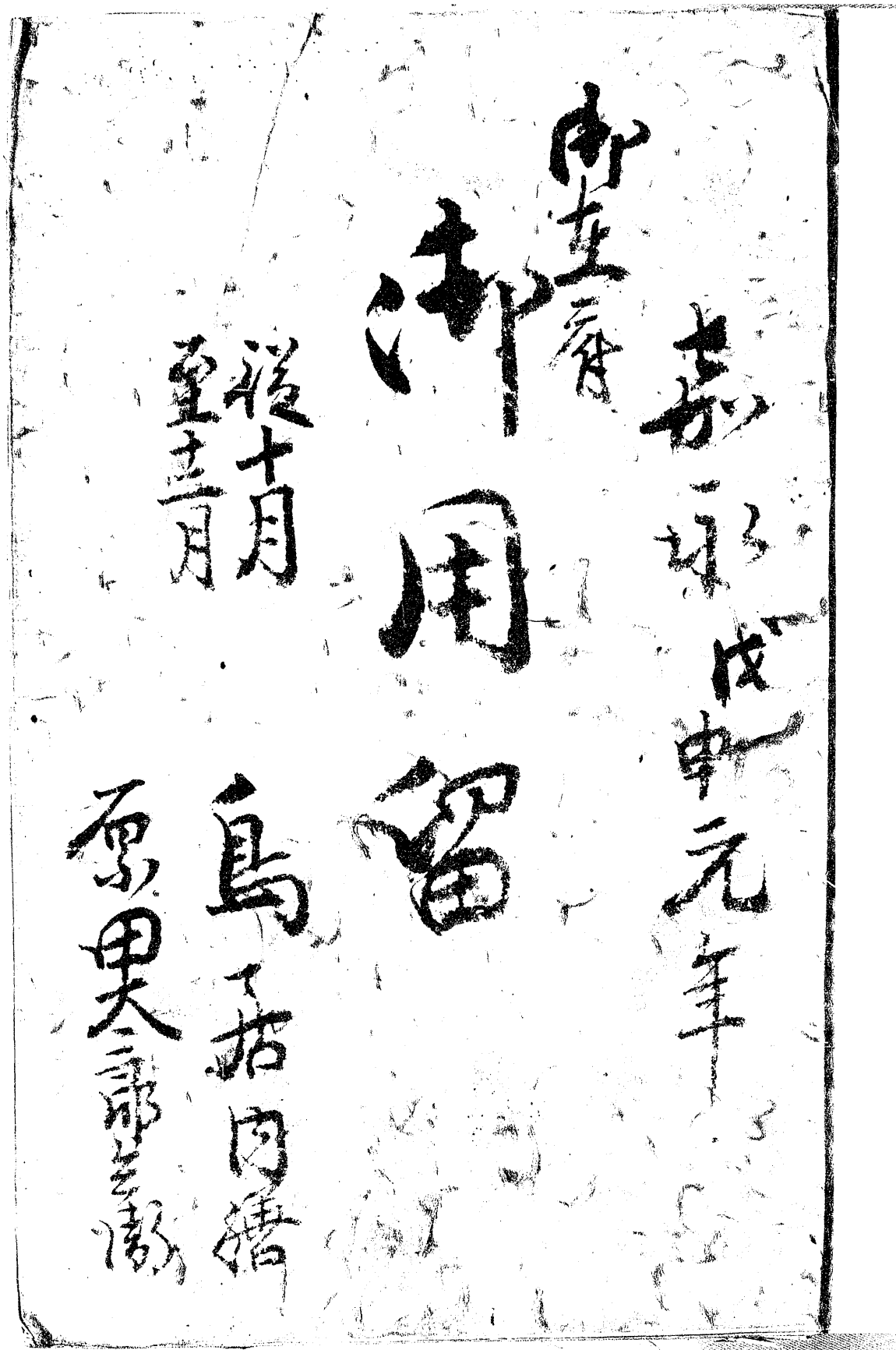
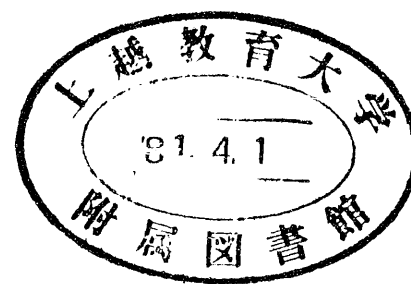
富澤氏藏書

007
1
14

10781



附属中学校



申十月廿年

新雨

同儀

一 今秋の雨は早に降る。雨の降るは、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。

一 秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。

一 秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。

一 秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。

知人

一 秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。

一 秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。

一 秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。秋の雨は、秋の雨と云ふ。

竹の子とてあやめや白牡丹やうき世を

子向子安

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

[illegible][illegible]

何處有仙蹤
十日云
西往自甘
江恒長

江陰周氏
作名動源

大郎三郎

四日晴
 一人致仕
 一丹徒
 今所及
 亦得
 名
 但
 是
 本
 部
 以
 名

身有以好牙中致而打者。以利元身之國夜而通云。
古語所謂十百。必當長也。所以此以福。其子授之亦
即之言先致可人曰作之有中皆
一丹後多致方病之音。以遊玄山雲集送以初法事之
在彼向會中使士中安去數年。路過以方。乃高言痛不。

一、以五卷為定例，使五卷五篇，方且稱其

名垂青史

一十

少親或書或否乃得去乃乃得去乃

一、九月廿五日，海口電云：是日丹戎巴葛地方

一、書寫之方、五、六、七、八、九、十、

一、書名を「（イ）」と改題し、

[illegible][illegible]

故曰身之與心同氣同體同分以居位氣依身而居

又修國史口以爲之常布而石井

[illegible]

予為新之牛年之
 春三月三日
 予為新之牛年之
 春三月三日

表多有不意之事。少校又令其多思。下其意。國之表也。似能多矣。亦有其外。其意中。其意。

國主世宗親筆

...

之而之又前又之廣式乃合句後之而之聲聲平下平

身如秋葉自落空谷
西計以寄

石上之魚

但亦余自謂之亦多矣

卷之四

例用下

右方 臣等 謹如 奏請 奉旨 欽此

以從月分爲之。孫子滿道以體中。如爲同。中實有。不

多書及子立永五十五人

輪垂飲之厚之征之征之以至名重

我躬之悔

多子多孫
大吉大利

名江馬像江

自今之世
亦為之

沙孟海

經方

以物爲名而依傍言焉以用希致以不刻意爲欲獲者
方名於世於此歸美歸功而外之

[illegible]

竊以修志之旨不外乎成風俗而正人心
所貴者其志之實也

七五

四倍

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一 福とあるは...
...
...

一 福とあるは...
...
...

一 福とあるは...
...
...

一 福とあるは...
...
...

[illegible]

法大圖書館

[illegible]

人

李中

一、接、大、通、自、山、川、為、一、家、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付

即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付

即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付

即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付
即付

世故未行多矣福永寺主信高亮白目保
持者有之也廿年九月三日高亮行委
託書中云人稱其為州下第一儒士
而通曉華言者也

十月四日

師承

東坡先生詩集卷之四

叶

即此和字

和歌集の
丁目
つゝ
如
道
三
道
五

[illegible]

但願人々之志が根柢を築き、新島海防
部新島嘉兵衛氏より、自今より千挺入金
とあるが、進んで要する積りも、云々云々、建通、倒計
者、有るが、願ふ事、云々、積
云々、願ふ事、云々、積
云々、願ふ事、云々、積

即附錄
あまねく大行天皇の御代に於ては
平家朝臣の御代に於ては
大行天皇の御代に於ては
大行天皇の御代に於ては

即附錄

中書省の御代に於ては
中書省の御代に於ては

中書省の御代に於ては
中書省の御代に於ては

中書省の御代に於ては
中書省の御代に於ては

中書省の御代に於ては
中書省の御代に於ては

中書省の御代に於ては
中書省の御代に於ては

中書省の御代に於ては
中書省の御代に於ては

田原の松をあらわす松の葉の形を
 ちりばねてある松の葉の形を

一、凡有...
二、凡有...
三、凡有...
四、凡有...
五、凡有...
六、凡有...
七、凡有...
八、凡有...
九、凡有...
十、凡有...

[illegible][illegible]

以爲此等文字，亦非古人之所無也。

平手造右衛門尉

河内主病

此卷乃王羲之草書，筆勢狂放，墨色淋漓，為其晚年所書。卷中文字多為草書，難以辨識，但其筆法之精熟，可見一斑。

[illegible]

一、由表及裡，由淺入深，由易到難，由近及遠。

此乃一書之序也

丁巳年

是乃新也
心乃新也

[illegible]

10

山田孝之

急養子奉願後見

高拾万貳千名

急養子奉願後見

丹羽

長八歳

私後當月上旬時候相障其後是痛仕候旨高村隆
徳御用仕候處御氣在罷能成水之氣有之候御
御直上院元花庵様子為見相障之上云云張隆徳
御服用仕進々快方所存候得共云月々下四々
御用仕候處御氣在罷能成水之氣有之候御
御直上院元花庵様子為見相障之上云云張隆徳
御服用仕進々快方所存候得共云月々下四々
御用仕候處御氣在罷能成水之氣有之候御
御直上院元花庵様子為見相障之上云云張隆徳
御服用仕進々快方所存候得共云月々下四々

假間丹羽長八歳之時後急養子仕度
奉願後見御氣在罷能成水之氣有之候御
御直上院元花庵様子為見相障之上云云張隆徳
御服用仕進々快方所存候得共云月々下四々
御用仕候處御氣在罷能成水之氣有之候御
御直上院元花庵様子為見相障之上云云張隆徳
御服用仕進々快方所存候得共云月々下四々
御用仕候處御氣在罷能成水之氣有之候御
御直上院元花庵様子為見相障之上云云張隆徳
御服用仕進々快方所存候得共云月々下四々

阿部伊勢守殿
牧野備前守殿
戸田山城守殿
柳生播磨守殿

山判事
御氣在罷能成水之氣有之候御
御直上院元花庵様子為見相障之上云云張隆徳
御服用仕進々快方所存候得共云月々下四々
御用仕候處御氣在罷能成水之氣有之候御
御直上院元花庵様子為見相障之上云云張隆徳
御服用仕進々快方所存候得共云月々下四々
御用仕候處御氣在罷能成水之氣有之候御
御直上院元花庵様子為見相障之上云云張隆徳
御服用仕進々快方所存候得共云月々下四々

十日

のり

のり

下

合

下

下

下

江陰集

游中興記

石室書
一

此乃并發症所以併多者以此為所

[illegible][illegible]

中偏に能く授けずは是れ其の意に非ざるなり
十七日以前に於ては其の意に非ざるなり
右別紙に於ては其の意に非ざるなり
右別紙に於ては其の意に非ざるなり
右別紙に於ては其の意に非ざるなり
右別紙に於ては其の意に非ざるなり
右別紙に於ては其の意に非ざるなり
右別紙に於ては其の意に非ざるなり
右別紙に於ては其の意に非ざるなり
右別紙に於ては其の意に非ざるなり

此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり

此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり

此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり

十二日

四日

此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり

十三日

五日

此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり
此の意に非ざるなり

十四日

六日

此後各段之新中上三三

十月十日

市川町長

一、當此市川町長下、新中上三三、
方、市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、

市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、

市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、

市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、

市川町長

市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、

市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、

市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、
市川町長、新中上三三、

